

みんなで話そう、これからのこと。

議会便り

No. 238
令和8年4月20日 発行

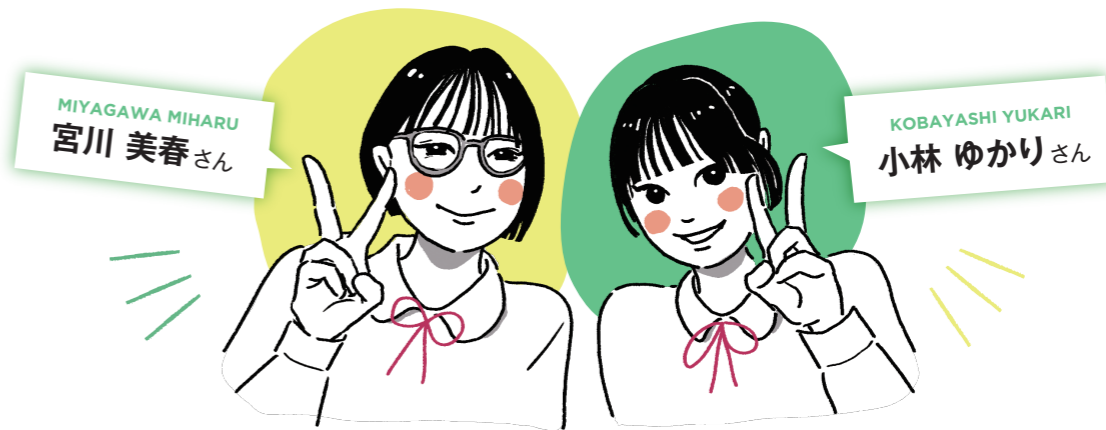


ありがとうの季節

中学生インタビュー特集 /

14歳、4年後 選挙に行きたくなる!

14歳の中学生が4年後18歳になったとき、選挙に行こうと思える議会報を届けることを目指しています。
今回は14歳である津南中学校の2名へのインタビューをお届けします。



議 将来の夢はありますか?

小林…医療で人を笑顔にしたいです。
宮川…私も調理や製菓で人を笑顔にしたいです。
そして自分でも楽しみたいです。

議 議会って何をするとおぼえていますか?

小林…偉い人達の集まりかな。
宮川…津南の運営をしている人達。

議 NGP津南の問題は知っていますか?

小林…なくなるのは悲しい。
宮川…何かが起きてるのは知っています。
売られるとか、無くなるとか…。

議 人口減少に対してどう思う?

小林…人がいなくなると活気がなくなりそう。
宮川…生まれた所が無くなりそうで怖い。

議 津南町のどんなところが好きですか?

小林…水とお米が美味しい!スノボが好きなので
冬にスノボができるのは嬉しい。
宮川…ビルなどがなく、景色がいいところ。
過ごしやすいです。

議 津南町のどんなところが苦手ですか?

小林…雪が多すぎるし、寒い!
宮川…どこに行くにも遠いです。移動手段がない。

議 進学で津南から出る予定ですか?

小林…東京の大学に行ってみよう。
宮川…関東には出たいと思います。

議 津南町に帰って来たいですか?

小林…戻ってもいい。でもまだわからないなあ。
宮川…仕事が心配。お金を稼いでからなら!

インタビューの感想 まっすぐで、明るくて、そして可愛い!

素直でピカピカ!二人と話しているところまで明るい気持ちになって、ワクワクしてきました。未来にもまっすぐ向き合っていて、きっと楽しいことがたくさん起こるだろうと嬉しくなりました。津南町はあなた達がいつでも安心して帰ってこられるように、ずっと見守り続けます。(滝沢・久保田)

表紙のカメラマン



小島 宗一 さん (津南町)
津南町の美しい風景をたくさん撮られています。

株式会社イントランスへの土地及び建物の売却に反対し、同社との基本契約書の解約を求める勧告決議



配信はこちら

不十分な説明のまま 住民の不信感が増している

原案に賛成

乗原 洋子 議員



昨年、町長はNGP津南の再生に向けた住民説明会で、イントランスに優先交渉権を与え、有名ブランドホテル「IHG」の名前を出し、ホテル棟と379haの広大な土地を10億円で売却、リニューアルに100億円近い投資と雇用についても説明し期待していた住民も多くいた。しかし、今年3月末の売買契約期限を前にして住民、議会への十分な説明もせず方向性が大きく変わったこと。ここに来て町長への不信感も更に増したことを理由とする。

津南の未来のために、 前に進むために!

原案に賛成

滝沢 萌子 議員



とある方が「世界がグローバル化しているからこそローカルに価値がある。地域の固有の文化、獨創性に価値が生まれてくる」と言っておられた。豪雪地帯で自然に生かされながら知恵を絞り命をつないできた津南だからこそ自分たちで価値を作り出せる。価値はもらうものでなく作るもの。津南町の子どもたちにとって誇りに思える場所にしていきたい。本決議案は発展を止めるものではない。前に進むためのものである。

確実な情報として 有価証券報告書から

原案に賛成

石田 タマエ 議員



本件に関しては2年近く検討を重ねてきたが何一つ確実な情報が得られなかった。方向性がその時その時で変わったり、購入金額の10億円に関しても聞くたびに状況が変化したりしている。何が本当なのか判断できなく、確かな情報として公表されている有価証券報告書に頼らざるを得ない。それらの情報を調査して実効性に乏しいと判断し、広大な津南の財産をこの様な企業に託すことはできない。本決議案に賛成する。

根拠なき不安で 未来を閉ざしてはいけない

原案に反対

恩田 稔 議員



本案に反対します。理由は3点。第一に深刻な人口減少です。若者に選ばれる「働く場の多様性」の確保は待ったなしの課題です。第二に、イントランス社の提案は国際リゾート化による希望であり、これを否定するなら明確な代案を示すべきです。第三に財政の危機です。基金が底を突く寸前の今、現状維持は衰退でしかありません。根拠なき不安で未来を閉ざさず、次世代に責任を持てる決断を強く求めます。

町民の声や思いが大切

原案に反対

月岡 奈津子 議員



イントランスは津南町へ投資をし、自然や文化を大切に町と共存共栄したいと共に発展を望む会社である。本来であれば今頃、町民がワクワクするようなNGP津南の再生に向かってはいるはずが、未だ進展しないのは私たち議会の責任でもある。イントランスへ期待を寄せている従業員の方々の将来の見通しはどうか。先延ばしにする事による町民の財政負担やスムーズな雇用の移行を議会は考えるべきだ。

執行権の侵害であり 町を破綻へ追い込んでいる

原案に反対

村山 郁夫 議員



公正な手順を経て締結された契約を恣意的に排除しようとする行為は取引の信頼を失墜させ、企業の町に対する投資意欲を失わせる。また、行政の執行権を侵害して本来の議会の議決権行使から逸脱した行為である。さらに危機的な町の財政への無理解は町を破綻に追い込み、福祉・病院・教育・産業振興策の充実のための対策が打てなくなる。実体のない不安を理由に町が飛躍するチャンスを投げ捨てるべきではない。

津南町に「希望の灯火」を

原案に反対 久保田 等 議員



世界中から人々が訪れ、この町の食、水、緑、雪に感動し、農家や商店が潤い、若者が「ここで働きたい」と思える活気ある未来の姿を想像して見てください。私は議員として、町の将来の発展となる芽を自ら摘み取るようなことはできない。イントランス社という確かな実績と戦略を持つ日本企業と共に、新しい時代を切り拓きたい。本決議案を否決し、津南町の希望ある未来へ一歩踏み出すことを強く訴える。

保育園不落の再来か。 再生を阻む「負の連鎖」

原案に反対 筒井 秀樹 議員



発議案第2号に断固反対する。かつて「特別委員会」を設置し議論を先延ばした結果、情勢変化を招き保育園建設を頓挫させた「負の歴史」を忘れたのか。議会は未来を縛る「遅延機能」であってはならない。反対議員に問いたい。財務の枠組みを理解せず、再生の代案も示さず、結局何がしたいのか。町の再生を止めることが目的か、町を緩やかな死へ導くのが目的か。赤字を垂れ流す停滞へ戻る道は、断固拒絶すべきだ。

イントランスへの 売却反対 勧告決議

令和8年 第1回津南町議会定例会

勧告決議の内容

広大な町有財産であり、町の将来に重大な影響がある

現在、町が所有するニュー・グリーンピア津南について民間譲渡を進める中で、株式会社イントランスに優先交渉権を付与し、ニュー・グリーンピア津南の再生に向けた基本協定書を締結している。

しかし、ニュー・グリーンピア津南は建物を含む約379ヘクタールの広大な土地が町有財産であり、長年にわたり町民の財産として維持されてきた極めて重要な公共資産である。この度の民間譲渡は町の将来に重大な影響を及ぼすものであり、その意思決定にあたっては透明性、公平性及び町民への十分な説明責任が確保されなければならないが、現時点において売却の条件及び財産価値の評価、売却先の状況、今後の再生の方向性について議会及び町民に対して十分な説明が尽くされ、進んでいるとは言い難い状況である。

また、行政の財産の処分にあたっては、その公共性を踏まえ、慎重かつ適正な手続きにより判断されるべきものであり、拙速な売却は町民の理解を得られないおそれがある。



提出者 江村 大輔 議員
賛成者 滝沢萌子 議員
関谷一男 議員
乗原洋子 議員
吉野徹 議員
石田タマエ 議員

理由 1

売却予定の土地はほぼ全域が涵養地であり、町民生活にとって重要な土地であるにもかかわらず、広大な土地が必要な理由及び根拠も乏しく、売却範囲が約266ヘクタール、東京ドーム約57個分に相当し、極端に広く、町民への影響が計り知れない。

理由 2

有価証券報告書では過去7期のうち5期に経常損失があり、直近は3期連続で重要な経常損失を計上している。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性の有無についての経営者による判断の妥当性が監査上の主要な検討事項に該当すると判断されているとともに、融資に関する金融機関との折衝が困難な状況にあることから売却先として適当ではない。

理由 3

賃貸借運営をしているホテルが5つあり、ヴィラホテルは18室で従業員13人、ブティックホテル3棟49室で従業員30人、高級ビジネスホテル48室となっている。町の評価書の中で実績面での評価が優位とされているが、連結子会社として運営しているヴィラホテルとブティックホテルで、経常損失を計上しており、NGP津南の再生に向けての実績があるとは言い難い。

理由 4

株式会社イントランスの経営方針の中で中華圏をはじめグローバルなネットワークを生かした事業設計、資金調達を行うとしており、インバウンド送客事業では、中華圏からグループホテルへの送客数の拡大を推進し、収益の拡大を目指すとしているが、現在、緊張状態が続く日中関係の中では実現が極めて難しい。

一般 GENERAL INTERPELLATION 質問



- 筒井 秀樹 議員**
 - 福祉の視点に基づき冬期間の生活維持対策と、持続可能な居住エリアの構築
 - 小学校統合に伴う校舎リニューアルと児童の生活環境整備
 - 上下水道料金の早期改定と財政の健全化
- 月岡 奈津子 議員**
 - 次年度事業の取り組み、方向性
- 久保田 等 議員**
 - ふるさと納税増対策
 - 第6次津南町総合振興計画の前期の結果と後期の施策
- 村山 郁夫 議員**
 - 農業の構造的脆弱性
 - 商工雇用観光分野の停滞打破と「外貨」を稼ぐ仕組みづくり
 - コンパクトな経済圏域
- 関谷 一男 議員**
 - NGPP津南譲渡
- 桑原 洋子 議員**
 - NGPP津南の住民説明会から半年、イントランスの現状を見極め、町の決断を求める
 - 妻有地域の医療の充実と津南病院の方向性
 - 母親が育児休業中であつて、育休前から保育所に入所している児童の対応
- 風巻 光明 議員**
 - 津南町の鳥獣被害対策に対し今後の取組強化
 - 随意契約の適法性と今後の条例 規則の見直し
- 滝沢 萌子 議員**
 - NGPP津南の民間譲渡
 - 津南町地下水及び水源地域の保全に関する条例案
- 吉野 徹 議員**
 - 町、財務実態
 - NGPP津南施設の行方と現状
- 江村 大輔 議員**
 - NGPP津南運営管理支援業務の委託先選定
 - NGPP津南譲渡移行等支援業務委託の議案での当局答弁と議案の違い
 - NGPP津南の民間譲渡までに行う事項とスケジュールの変更
- 石田 タマエ 議員**
 - NGPP津南再生について

筒井 秀樹 議員

雪の苦勞を希望へ。
一生住み続けられる
津南を！



「持続可能な 居住エリアの構築」

問 人口減少下、従来の除雪は限界で「福祉の危機」である。持続可能な町に向け、除雪を「動かす」から「集まる」へ転換すべきだ。ボランティアを地域通貨等で支える「除雪ポイント制度」による共助の構築と冬期間のみ中心部へ居住を移す「福祉シエルト」の推進で、安全確保とコンパクトシティ化はどうか。

町長 できるところは検討する。



「小学校統合に伴う 校舎と環境整備」

問 小学校統合を機に、新校舎の「美装化」と暖房便座すらないトイレや長靴が曲がる下駄箱など、時代遅れの生活環境の抜本改善を求める。また、運転手不足が深刻な通学バスの維持に向け、児童の通学に高齢者らが相乗りする「共用」による効率化はどうか。雪国の実情に即した具体策を問う。

教育長 暖房便座は徐々に進めていく。バスの運行は今後の課題となる。

「上下水道料金と 財政の健全化」

問 上下水道事業への多額の繰入金、他施策を圧迫している。条例上の「3年」という先送りは、将来的な「急激な値上げ」を招き、町民負担を増大させる。インフラの安定と負担の平準化のため、物価高騰を鑑みた「早期かつ段階的・緩やかな改定」に今すぐ着手すべきだろうか。

建設課長 財政、町民負担の両方の観点から検討する。

月岡 奈津子 議員

次年度事業の
取り組みと方向性



「町長選に向けた お気持ち」

問 町長任期満了まであと4ヶ月余りだが2期目の成果や課題、やり残したことなど、どの様に捉えているか。

町長 保育園環境整備を再び軌道に乗せること、町立病院経営の課題である常勤医師を確保することが必ず成し遂げる事項であった。次の去就については、喫緊の課題解決に力を傾注していることからそこまでの考えに及ばない。

問 正式に次期に向けた進退表明はいつ頃、どの様な場で行うのか。

町長 より多くの課題に目途がつき、軌道に乗ってきた頃に表明したい。

「観光とジオパークの 協働は」

問 うもれあにジオガイドを常駐するなどの連携は。

ジオパーク推進室長 ガイドのスキルアップの一環として、うもれあを使つてどの様な案内ができるか研究を始めた。

問 山伏山風穴の修繕費用の財源捻出方法と一刻も早い修繕に向けた手段は。

観光地域づくり課長 町の単独財源だけでは厳しい。クラウドファンディング、ふるさと納税等の活用ができないか研究している。なるべく早く何らかの形を取らせて頂く。

問 自然環境保護条例の制定に向けた作成の進捗状況は。

税務町民課長 案の作成にあたっては、細かいところを検討している。



久保田 等 議員

ふるさと納税、
有機農業の展望は



「来期の目標金額を達成する 具体的な施策」

問 寄付額が昨年よりも約1億円増えて5億5千万円位になるかと思われるが、増えた要因で一番寄与しているのは、寄付額の90%以上を占めているお米の価格が上がった事によるものかと思うが、町として行ったきた施策と来期目標6億円達成の施策は。

町長 新規取り扱業者を増やす為に、勉強会並びに個別訪問で個人2社と法人5社を増やすことができた。取り扱い商品はお米が4社、それ以外が3社である。今期は楽天やふるさとチョイスでの検索連動型広告を実施したが、来期はそれをさとふるにも展開する計画とレビューキャンペーンは引き続き実施していく。

「町の活性化には 次の5点の促進は必須」

問 前期結果と後期計画はどうなっているか。

- 町長**
- ① 商工業の振興…人口減・高齢化でいくつかの事業所は閉鎖されたが、域外からの民間消費を20億〜30億40億を目標にしたい。
 - ② 雇用の拡大…企業誘致・起業はコロナ禍で期待していたが、サテライトオフィス化は目標に届かなかつた。後期は景気の回復と共に期待したい。
 - ③ 観光業の振興…官民連携での協議体など観光を盛り上げる話し合いを検討している。
 - ④ 交流人口の増加とネットワークづくり…今期は総務省のふるさと住民登録を本格的に運用するので、津南ファンサポーターを把握し拡大に努めるよう計画を変更する。
 - ⑤ 移住・定住（U・Iターン）の促進…今期より奨学金の返済に対して補助金にて支援することにより津南町へのU・Iターンを促す。





村山 郁夫 議員

持続可能な津南町の産業構造

「津南町の今後の経済のあり方を考える」

問 ブランド農産物の6次産業化は。

町長 本来、高品質であり加工するとブランドが落ちる面もある。高品質のための支援で安定生産と増産に資する施策を行っていく。

問 企業経営を支える学習支援は。

町長 津南町農業者経営会議を立ち上げ、専門家のアドバイスを受けられる仕組みを構築していく。

問 企業支援のためのインフラ整備の実績は。

町長 1丁企業の coworkingスペースとして「だんだん」に3社が住所を置いている。また「おかしり集学校」にサテライトオフィスが整備されていくことを期待する。



coworkingスペースのある「だんだん」

問 インバウンドによる町の振興策は。

町長 高品質な産品での食体験をインバウンドのみならず国内向けにも整備していきたい。

問 直接宿泊予約に繋げるデジタル戦略は。

町長 体験型持続可能なツーリズムは町の観光に適しているが、いかに発信するか課題であり検討する。

問 コンパクトで強い経済圏構築のためのプラットフォームの共有化は。

町長 行政基幹システムは他自治体とのクラウドサービスが実現している。県が進める電子申請システムは業務負担の懸念から参加していない。他自治体との施設の共有化は自治体間での調整に難があり、スマート農業機器は時期の集中や管理者の問題から課題がある。



関谷 一男 議員

NGP津南譲渡今後をどう考えるか

「現在の状況、経営体制今後の対策は」

問 優先交渉権を付与しているイントランス社とは、今現在どのような状況なのか、NGP津南の4月以降の経営体制は期限までに交渉がまとまらなかった場合、町は対策をどのように考えておられるか伺う。

町長 町はイントランス社と令和7年10月に基本協定書を締結しており、今売却に向けた作業を進めているところである。売却にあたっては慎重な声や反対されてきた方々もおられるが、色々な条件、内容がイントランス社、銀行共に良い方向に擦り合せが進んでいるところである。経営については、津南高原開発から、令和8年4月以降の予約を受け付けて良いか問い合わせがあり、町としては町の追加財政負担



NGP協議が進む今後

がなく売却に協力いただくことで4月以降運営を続けていただくことは、やぶさかではないと回答している。一方で同社の経営状況を鑑みると収入が落ち込む4月以降の経営を行うことについて疑問視している。同社が厳しい経営状況であることから町としては非常に心配しており、1日も早く解決に向かわなければと思っている。期限までにまとまらなかった場合、多くの利害関係者が絡み町だけの問題にとどまらない状態であり、交渉がまとまらない状況により判断すると、様々な限定条件によって異なる判断となる可能性が出てきており、現時点でのお答えができない状態である。



萩原 洋子 議員

イントランス方向変わったなら住民説明せよ

「高原開発の雇用・債務はどうなる」

問 NGP津南の住民説明から半年。12月議会では方向性は変わっていないと答弁。しかし、昨日(2月26日)の説明でM&Aに大きく変わった。

町長 イントランス社は当初物件を所有するという話であって、津南高原開発をM&Aするつもりはなかった。ここに来てご指摘の通り話が変わってきた。M&Aを検討せざるを得ない状況。当然、売買代金が下がる想定している。ただ、それは皆様の要望を受けて変わってきている。

問 津南高原開発の債務処理について、町は第四北越銀行と協議しているのか。

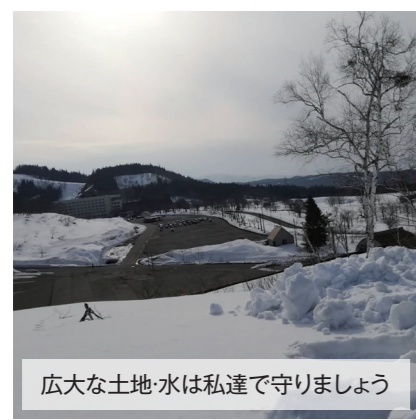
町長 津南高原開発の課題であり町が関与、意見を言う立場でないことを伝えてある。町の公的資金を投入することはない。雇用についても本来、雇用主の津南高原開発が考えるべきで議論が必要。

問 懸念する施設の老朽化、緊急修繕が必要な所が35箇所あると施設診断している。危険な建物の中でまだ営業を許可するのか。

副町長 ご指摘の通り、危険な箇所もある。安全を担保できない修理は町でさせていただいた。

問 方向が変わったのであればここで一旦止めて、町民と相談するべきだ。

町長 このまま進んでもおらず、今止まっている状態かと思う。町としては精一杯急いだ方が良く思っている。皆さんがどう判断するかが今回の肝になっているところである。



広大な土地・水は私達で守りましょう



滝沢 萌子 議員

NGP津南の今後と水源条例への想い

「この先の選択は誰がいつするのか」

問 12月議会では「AでもBでもない、斜め上の解決策」及び「銀行を含めたビジネスのプロの方が方向性を示す」などの答弁があったが、2月10日時点ではまだ何も示されていない。現在の状況はどうなっているか。

町長 様々なアイデアがあったよのだが、銀行側からは具体的・現実的な話はいただいていない。

問 イントランスとM&Aを進める未来と、一旦優先交渉権を解除する未来もあると思うが、どうか。

町長 会社の財務のデューデリジェンスを行い状況の判断し、進める。町としては、この方法が受け入れられるのであれば最短であって雇用を守る道ではないかと感じている。

問 優先交渉権を解除する方もあるという認識はどうか。

町長 優先交渉権を解除するということは、津南高原開発の経営状況が非常に危い状況に陥ってくるものと推察している。町としてはそこに強い懸念を持っており急いで進めてまいりたい。



美しい水を守りたい

「事前協議と許可制を条例に取り入れて」

問 バブリックコメントにも事前協議制、許可制を取り入れてほしいという意見があった。いままでの議会でも何度も提案させていただいているが、取り入れていただけないか。津南町は水が有名な地域である。この先も誇りを守るように再度検討していただきたい。

副町長 他の先進市の条例も参考しながら、町としてできるベストの対策を取ったという状況である。



吉野徹 議員

一般会計から 公営企業会計への 繰出金実態は

負債基準と負担額

問 厳しい財政運営のなかで、公営企業会計の地方債や赤字解消に充てている負担基準と負担額は。

町長 公営企業会計での地方債返済に充てるための、一般会計の負担見込み額、返済額について。令和7年度現計予算ベースで繰り出し見込み額は簡易水道事業会計で償還見込み額592万円に対し繰り出し見込み額324万円、特定環境保全公共下水道事業会計で償還見込み額3,050万円に対し繰り出し見込み額3,007万円、農業集落排水事業会計で償還見込み額1,523万円に対し繰り出し見込み額1,512万円、病院事業会計で償還見込み額1,455万円に対し繰り出し見込み額904万円である。

「NGP津南施設の 現状と行方」

問 優先交渉権イントランス社との現況は。

町長 交渉の中で、新たなM&A交渉を提示して来られ、早急に検討すべきと捉えている。

問 交渉での売却予定地の面積と関係地の評価額は。

町長 町道 水源地等約70haを除外した約300haとなる。示された購入額10億円の減額も今後の課題と捉えている。また、町有地の再評価の作業を進めている。

問 3月末で期限を迎える津南高原開発との借地借家法の対応は。

町長 今後の課題であり、義務を履行する。



NGP津南の未来は?



江村大輔 議員

NGP津南運営管理 支援業務の委託先選定は

「一連の実態に 問題は無いのか」

問 業務先の選定では信頼できる人に紹介してもらい、会社を訪問し業務実績を踏まえて信頼できると判断し、必要な手続きを踏んで決定した。専門的見地から包括的に行うこと、慎重に情報を取り扱う必要があることを理由に財務規則に則って、競争入札には適さなく随意契約で決めた。民間譲渡に係る詳細な情報を契約していない第三者が知っていた事実はあるか。

町長 様々な関係者に相談、助言をもらい、町民と町にとって一番良い選択となるため、判断の適切さを担保するため必要な処置と考えており、契約をしていない第三者が知っていた事実はある。

問 情報の取り扱いを慎重に行うために議会への情報開示がされなかったが、契約もしていない第三者の方が大事な局面的公式な場に同席し

て決定前の方針を知っている、現運営会社の情報を知っている場合、守秘義務違反に当たらないのか。

町長 非公式、公式に様々な方の力を借りなければ、今日まで町を回してこるまでできなかった。本件については法律的な違反に当たらないと考えている。運営会社に現実を受けとめてもらうためには専門的な知見を持った方からの話のためになるものである。

問 サヴィルス・ジャパンとシティエール法律事務所を紹介した方が、イントランスの座組を公式な場で説明した事実を町が容認しているのであれば、利益誘導の疑いや背任行為の疑念を抱かれかねないが見解はどうか。

副町長 一案として出された案である。相手があつての交渉になるため、偏った話を町側はしていき、銀行も同席した方もサヴィルス・ジャパンもしていない。どちらかに偏ったり、恣意的な判断をしたりということではなく、客観的にビジネス的に成立するかどうか判断されたもの。疑念を抱くのは個人の考え方、捉え方によるものである。



透明性は大切



石田タマエ 議員

町民の財産は 何円でも良いのか

「売買価格の妥当性を 示されたい」

問 方向性が様々に変わってきて、つい昨日も新たな方向が示されたが、何が本当なのか解らない。いつまでに結論つけるのか。

町長 議員や様々な方々から様々な意見があつて、この様な事態になっている。イントランスと協議をして、3月末を目途としているが、今後の進捗状況にしたがい判断する。現時点において閉鎖・廃止は選択していない。

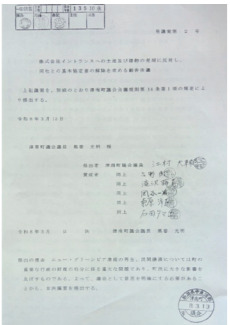
問 不動産鑑定はしたか。また、売却面積も決まらない中、10億円の妥当性と売却後のリスクについての考えを問う。

町長 不動産鑑定はしていない。相対の売買なので価格の妥当性について判断できない。一定の価格をつ

けていただいたことはありがたい。売却後のリスクについて、本件に限らず日本国内どこでも法の規則を受けるとはいえ、民間事業者への譲渡により、開発や転売などの抑止が効かなくなるのではといった不安は心情的な部分において理解はできる。一方、建物等がきれいに使われている状況で売却ができなくなるの方がリスクが高くなるかと考えている。

問 イントランスへの優先交渉権は3月末までとなっており、これ以上延期しないで次に交渉をしたらどうか。また、7,150万円は売買契約が整わなくても支払うのか。もし、支払うのであれば、議会への虚偽説明となるが見解を問う。

町長 様々な意見があつてここまで進めてきた。イントランスと3月末をめどに進めていく。不動産事業の支援業務を行っているサヴィルス・ジャパンへの7,150万円は契約書に基づき支払う。



イントランスへの
売却反対の勧告決議案

議会 傍聴

住民の感想

令和8年3月定例会

NGP津南の質問が多く、傍聴者も多く感じました。M&Aの話は、なぜそうなるのか疑問を感じましたが町長の危惧や真意も力強く述べられており理解できました。

60代男性

議員一人一人の一般質問をする印象を重視して聞いていました。質問内容の焦点を絞り、見直しを持った質問をしてほしいです。

町内 女性

「ご意見大募集！」

議会便りの感想、一般質問の感想、普段感んじていること、町への疑問や要望、議員と懇談したい内容など、DMや議会メールにてお気軽にご連絡ください！



E-Mail



広報委員長 Instagram

傍聴アンケート

大募集!

議会傍聴のアンケート用紙を置くことにしました。傍聴に来られた皆様はお気軽に「ご意見やご要望」をお出しください。記入いただいたアンケート用紙は常設しております箱の中に入れてください。

用紙を置いて
おきます!

議会傍聴アンケート
議会傍聴にお申し込みいただきありがとうございます。ご質問・ご意見をぜひお聞かせください。個人情報は厳重に管理いたします。お返書にご記入ください。

投票した日	月	日	性別	男性	女性	職業			
氏名	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
ご意見・ご要望									

このアンケートは匿名です
このアンケートは匿名です
このアンケートは匿名です



ここへ入れて
ください!

令和8年 町長施政方針

今年は年初より、政治も大きく変わるなかで、より新しい技術やエネルギーへの注目が高まっています。その流れで、地方創生にも少し違ったアプローチが求められる時期になってきたと感じております。だからこそ、国に頼り切りとなるのではなく、足元を固める意味において、地域としてしっかり力強く活動をしていくことが求められています。

津南町といたしましては、中長期的に産業と教育にしっかりと力を注ぎ、実を詰めた骨太の取組みを進めてまいります。そして、能動的・自律的に活動できる、教育がしっかりと行き届く、若者も年配者もお互いを尊重し、一緒になって頑張れる、生きていける、そのような自治体に向かって、今日の諸課題に正面から向き合っています。

このたび、新年度予算編成に向かうにあたり、私は、町民の皆さまから町の未来を託していただいた責任を深く自覚し、「課題に向き合い、一つひとつ形にしていく予算」を基本理念に掲げました。

課題に向き合い
新たな価値を
生み出す運営！



教育・子育て

学校統合や保育環境整備、給食費無償化などを進め、学びと子育て支援を強化。ICT教育や外国語教育も充実させ、次世代育成に力を入れる。

観光・移住定住

大地の芸術祭などを活用し誘客を強化。移住支援や二地域居住の促進、関係人口の拡大により人の流れを生み地域活性化を図る。

農業・産業

基幹産業の農業はブランド力向上と基盤整備を推進。安定生産と所得向上を目指し、有機農業やスマート農業の取組を進める。

福祉・医療

津南病院の機能見直しや在宅医療の強化を進める。子育て支援や高齢者福祉も充実させ、安心して暮らせる地域づくりを推進。

インフラ・生活環境

道路整備や除雪、水道・下水の維持管理を進める。老朽施設の更新や防災対策を強化し、安全で快適な生活環境を整備。

財政運営

予算総額約139億円を計上。基金や起債を活用しつつ、将来的な使用料見直しも検討し、持続可能な財政運営を目指す。

町政のサイクル

① 施政方針演説

町長が「今年(来年)はこれに力を入れます」と宣言。

② 予算・議案提出

その方針を実現するための具体的なお金の使い道を提示。

③ 総括質疑

議員が「方針と予算が合致しているか」「町の未来に繋がるか」を確認。

総括質疑とは？

総括質疑は、町長が年度初めに発表する「施政方針演説」や新しい予算案に対し、議員が町政全体の視点から疑問をぶつける場です。「この一年で町をどう導くのか」という町長の決意や重点施策が、実際の予算や計画とどう結びついているのかを質します。細かな数字の確認に入る前に、まずは町政の大きな舵取りや政策の根幹について町長に直接問いただす、議会における非常に重要なプロセスです。

総括質疑

町長の施政方針

一般会計予算等についての質疑

滝沢萌子 議員

Q インバウンドの誘客方法は？

ジオパークとの連携を推進し、首都圏、近隣、インバウンド誘客につなげるとある。主にどういった対象をターゲットにし、どんな誘客の方法を考えているか。

A 経費のあり方を考えて行っていく。

【町長】うもれあを起点に縄文人の暮らしにどう影響したのかというストーリーを掲示したい。県内、長野、関東、北陸からの日本人観光客をターゲットに誘客したいと考えている。

【観光地域づくり課】どういった層がターゲットとなり得るかを研究しながら軌道修正していきたい。

久保田等 議員

Q 移住・定住対策の新たな内容は？

令和7年度の移住実績をもとに令和8年度は他に新たな取り組みの考えはないか。

A 様々なプランを進めていく。

①移住者に「つなPo」カードを発行して1,000ポイントを付与する。②空き家のリノベーションについて専門家の知見を受ける。③町内事業所の新規採用者の町内定住を進めるため、アパートや貸家の家賃の一部を助成する。(最大年間12万円)④奨学金の返済に対して補助金にて支援することにより津南町へのUIターンを促す。

石田タマエ 議員

Q 町民にとって真に必要な医療とは？

町民にとって肥満症外来が真に必要な医療か。訪問看護はなぜ後退か。また、介護医療院は、群馬県等の施設に行かざるを得ない方々のために一時でも早い開設が望まれるが、なぜ開設を延期か。

A 看護師体制、整わず。

【町長】肥満症外来は現在の医師体制で可能なため、病院の収益性の面から必要となる。訪問看護の後退や介護医療院の開設の遅れは、看護師体制が整わないため、止むを得ない。今後人事担当の専門スタッフを配置して進める。

江村大輔 議員

Q GIGAスクール構想の検証を。

GIGAスクール構想の1人1台端末の活用は必要であるが、機器には多額の更新費がかかるため、教育内容の成果や導入したことによる課題の検証はしているのか。

A 研修機会の確保が課題。

【町長】県の共同調達に参加し導入した。各学校においてICTを活用した個別最適な学び、協働的な学びが進められており、学校現場の利用状況を把握しながら効果や課題の検証に努めている。活用を促進するためには教員への研修機会の確保、充実が課題である。

栗原洋子 議員

Q イントランスと津南高原開発のM&Aは？

大きく方向が変わったM&Aの中身は。

A 町が関与することではない。

2月19日にイントランス社と面談、町側の状況を考慮し津南高原開発のM&Aについて急遽の提案だ。詳細は決まってない。雇用や債務処理は企業の問題。町が関与することはない。一方でPROSPERもM&Aの提案、雇用は引き続き津南高原開発のまま、債務も引き継がれる。町は売却益が減少し、津南高原開発の債務に間接的に影響を受けていることになる。

令和8年度 注目事業紹介

今年度の津南町の暮らし・産業・子育てなど、地域の魅力を高める注目事業をご紹介します。



新規

衛生費

妊婦のための交通費及び宿泊費支援事業

近隣医療機関が分娩業務を終了することから、健診・分娩にかかる妊婦の交通費負担を軽減し、安心して出産に臨めるよう交通費等の助成を行う。

1,548,000円



衛生費

子ども医療費助成事業

18歳到達後、最初の3月31日までの子どもの医療費を助成する。通院時の一部負担金について0歳～就学前までの子どもの通院にかかる医療費の全額を助成対象に拡大する。

25,083,000円



衛生費

医学生等修学資金貸与事業

将来、医師・看護師として町立病院に従事する意欲のある学生や、介護福祉士として町内介護サービス事業所又は町立病院に従事する意欲のある学生を対象に修学資金を貸与する。

2,880,000円



総務費

結婚支援事業

「ハビ婚サポートセンター」への初回入会登録料の一部を助成する。R7年から婚姻した世帯に対して住宅取得費用や住宅改修費用、引越費用等について支援を継続する。

4,323,000円



新規

教育費

小学校給食無償化・中学校給食費負担軽減

小学校のいわゆる給食無償化差額分と中学校は給食材料費高騰分を町が一部負担することにより、給食費の保護者負担増を抑制する。

65,955,000円



新規

教育費

学校統合閉校事業・学校体操着購入補助事業

上郷小学校・芦ヶ崎小学校の閉校記念事業と両校児童に対して津南小学校の体操着購入費の一部補助を行う。

2,750,000円



新規

農林水産業費

湯水対策事業補助金

湯水対策を検証するモデル事業をR7年に実施し、効果が認められたため、新規事業として展開する。

6,500,000円



新規

農林水産業費

津南町放任果樹等伐採事業

管理されないまま残された果樹を伐採する費用の一部を支援することにより鳥獣被害を予防する。

1,500,000円



商工費

省エネ設備導入促進支援事業

省エネルギー機器(空調設備やLED照明機器)の導入を行う町内事業者に対し、その経費の一部を支援する。

7,500,000円



新規

商工費

アパート貸家賃補助事業

町内事業者の新規採用者の町内定住を進めるため、アパートや貸家の家賃の一部を助成する。

1,200,000円



土木費

住宅改修補助事業

住宅改修費のほか、木造住宅耐震改修費、同住宅耐震診断費に補助を行い、住環境の充実に図る。

4,450,000円



土木費

空き家対策事業

空き家の除却に係る費用の一部を支援する。

2,800,000円

水資源を守る方法を考えよう

この条例は、地下水及び水源地域の保全に関し、基本理念を定めて町、町民、土地所有者、施設設置者等の責務を明らかにすること。また、地下水の適正な採取及び水源地内の土地所有者の移転、営利を目的とした施設の適正な土地利用の確保について必要な事項を定めるものです。水源地域の機能の維持と健全な水循環の維持を目指して条例が提案されました。

Point

- ・町として新たに地下水と水源地域の保全する条例をつくること
- ・一定以上の揚水設備を設置する場合に届出をすること
- ・今回の適用範囲はニュー・グリーンピア津南周辺と龍ヶ窪周辺であること



詳細はこちら

町では2月までに住民等の意見を聞くためにパブリックコメントを実施し、9件の提出がありました。

賛成 5人
反対 6人

議案第4号 第1回津南町議会定例会

否決 津南町地下水及び水源地域の保全に関する条例



配信はこちら

条例を育て、津南の宝へ



今まで町には環境保全の条例が全くなかったところ、今回初めてルール化することに非常に意義がある。法律・条例は最初から完璧なものはありません、次第に内容を充実させていくもの。届出制の部分は不備がある部分もあると感ずるが、これからこの条例を育てて津南の宝にして津南の水を保全しようとする考え方のものであるためぜひ成立させなければならぬ。

原案に賛成 村山 郁夫 議員

大切な水資源を守るため 事前協議と許可制へ



町が民間譲渡を行う前に条例制定に向けて取り組んだことに敬意と感謝である。町にとって、雪、水、大地は数十万年の歴史からなり、先人たちから私たちが引き継いだここにしかない宝物である。条例には基本理念が記載されており、津南らしさを感じる一方、届出制に留まり事前協議や許可制の導入に至っていない。事前協議、許可制にしたからと言って確実に守られるわけではないが、大切な水資源を届出制とする条例には反対である。

原案に反対 江村 大輔 議員

津南町の豊かな 自然資源の保全のために



津南町の自然と産業、地元経済の発展のため、これから水源地域の活性化を効果的に実施するために必要な条例である。事前届け出制度による実効性の担保は当面勧告、事実の公表となる。万が一、土地所有者から協力を得られない場合、企業名の公表となり、実務以上のダメージ、社会的信頼の失墜となる。よって、この条例の制定で土地利用の適正化を図る役割を果たすと思われる。

原案に賛成 月岡 奈津子 議員

議員、そして議会としての 使命を果たしたい



私の住む津南原地域はNGP津南の敷地内に水源があり、非常に大切な地域である。昨年8月から9月に開催された住民説明会でも、地下水などの水環境に対する意見、心配は大変高く強かった。今回のパブリックコメントで活用できる住民は少ないと思われるが大事な条例案を知る機会が必要ではないか。地下水などの水環境は他の地域にない津南の宝であり、守り生かしていく上でも住民の理解は欠かせない。意見や理解が深まるような取り組みをお願いして反対の討論とする。

原案に反対 栗原 洋子 議員

よい形へブラッシュアップし 津南の水を守りたい



本条例案は、町の貴重な水資源を将来世代にわたって守り、町民の命と暮らしを支える水を保全していくという点においては大いに賛同する。しかし、「ゆきみずだいちつなんまち」をコンセプトに掲げる津南町がつくる水源条例はもっと想いの強い、よい形に進化できる。さらにブラッシュアップし、大人も子どもも、みんなが納得してこの条例を作ってくれてよかった、ありがとうと思ってもらえるものにしたい。もう一度、町と一丸となり、ともに練り上げたい。津南町の未来のために、今は反対とする。

原案に反対 滝沢 萌子 議員

補正予算等の概要

第1回臨時の概要

令和8年1月

令和7年度一般会計補正予算(第14~19号)

補正額	1億3,682万円
総額	90億6,146万円

【主な内容】

【歳入】	
衆議院選挙費増	1,380万円
物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金増	1億6,388万円
【歳出】	
プレミアムポイント発行事業補助金	4,200万円
物価高騰対策集落支援金	3,817万円
臨時特別給付金事業費 増	7,561万円

第1回定例会の概要

令和8年3月

令和8年度当初予算の概要

一般会計

総額	84億2,700万円
----	------------

【主な内容】

【歳出】	
庁舎ネットワーク機器更新	1億239万円
「なかまの家」改築工事補助金	3,818万円
保育園副食費無償化	2,396万円
保育園整備事業	2,900万円
「妻有荘」改築工事	1億6,883万円
妊婦交通費・宿泊費支援	154万円
放任果樹等伐採事業	150万円
濁水対策事業	650万円
石坂トンネル改良工事	5,000万円
秋山郷観光施設高付加価値化事業	2,710万円
新規採用者家賃補助	120万円
学校統合・体操着購入補助	275万円
スクールバス購入	2,786万円
奨学金返還支援	100万円
小学校給食無償化・中学校給食費負担軽減	6,595万円

討論

NGP議会説明は 徹底して密室会議



原案に反対 栗原 洋子 議員

令和8年度一般会計予算案に対する姿勢に反対する。町の観光拠点であるNGP津南の民間譲渡は徹底した密室会議で進めてきた。職員は本来の業務の中、激務を強いられ士気が上がらず疲弊していると思うと本当に胸が痛む。農業問題も提案し、特に水不足は解決への姿勢が見えない。病院は国の方針での改革ありきだ。町長は次を目指すなら、津南の地に足をつけ町民の命と暮らしを守っていただきたい。

「医療へのアクセス」は 国民の人権



原案に反対 栗原 洋子 議員

県内に病院再編、統合、診療所化、分娩休止など不安と批判の声が広がっている。津南病院「再建の3本柱」も、こうした流れと同一のものと言わざるを得ない。この外来縮小再編、人件費削減は診療報酬の引き上げがふさわしく行われれば実施しなくても済むものだ。住み続けられる地域づくりには地域医療は欠かせない。国費を投入し診療報酬をさらに引き上げることを政府に強く要請していただきたい。

特別会計

()内は一般会計からの繰出金

国民健康保険特別会計	7億9,037万円(7,912万円)
後期高齢者医療特別会計	1億7,873万円(4,543万円)
介護保険特別会計	16億9,878万円(2億6,235万円)
簡易水道事業会計	2億4,588万円(8,474万円)
公共下水道事業会計	6億6,863万円(3億1,687万円)
農業集落排水事業会計	4億4,159万円(2億6,361万円)
病院事業会計	14億9,048万円(3億5,205万円)



令和8年第1回定例会(3月議会)

議案番号	件名	表決状況										採決結果
		月岡奈津子	滝沢萌子	村山郁夫	関谷一男	久保田等	筒井秀樹	恩田稔	江村大輔	乗原洋子	吉野徹	
承認第3号	専決処分の承認について(令和7年度津南町一般会計補正予算(第18号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第4号	津南町地下水及び水源地域の保全に関する条例の制定について	○	×	○	×	○	○	○	×	×	×	否
議案第5号	津南町議会議員及び津南町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第6号	津南町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第7号	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可
議案第8号	令和7年度津南町一般会計補正予算(第19号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第9号	令和7年度津南町簡易水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第10号	令和7年度津南町特定環境保全公共下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第11号	令和7年度津南町農業集落排水事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第12号	財政調整基金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第13号	津南町減債基金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第14号	津南町地域福祉基金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第15号	津南町簡易水道事業運営基金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第16号	令和8年度津南町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第17号	令和8年度津南町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第18号	令和8年度津南町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第19号	令和8年度津南町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第20号	令和8年度津南町簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第21号	令和8年度津南町特定環境保全公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第22号	令和8年度津南町農業集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第23号	令和8年度津南町病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める」に係る意見書の採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第1号	義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第2号	株式会社イントランスへの土地及び建物の売却に反対し、同社との基本協定書の解除を求める勧告決議	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	可

●採決結果の記載方法(可=賛成多数で可決等の場合、否=賛成少数で否決等の場合)
 ●表決状況の記載方法(議員個々の賛否:賛成=○、反対=×、欠席=欠、除斥=除)・議長は表決に参加できません。

議会の疑問 Q&A

もし賛成と反対が同数になったらどうなる?

もし議員が欠席して、人数が同数になる時にはどうなるの?

裁決権のある議長が判断します

可否同数になった場合、議長には可否を決定する権限があります。

令和7年第8回臨時会(12月19日議会)

議案採決(表決)結果

議案番号	件名	表決状況										採決結果
		月岡奈津子	滝沢萌子	村山郁夫	関谷一男	久保田等	筒井秀樹	恩田稔	江村大輔	乗原洋子	吉野徹	
発議案第6号	津南町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第90号	津南町特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第91号	津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第92号	令和7年度津南町一般会計補正予算(第13号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第93号	令和7年度津南町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第94号	令和7年度津南町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第95号	令和7年度津南町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第96号	令和7年度津南町特定環境保全公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第97号	令和7年度津南町農業集落排水事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和8年第1回臨時会(1月23日議会)

承認第1号	専決処分の承認について(令和7年度津南町一般会計補正予算(第14号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
承認第2号	専決処分の承認について(令和7年度津南町一般会計補正予算(第15号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第1号	工事請負契約の締結について(津南町役場庁舎 冷房設備更新工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第2号	令和7年度津南町一般会計補正予算(第16号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第3号	令和7年度津南町一般会計補正予算(第17号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

請願・発議・陳情

請願第1号

「義務教育費国庫負担制度二分の一復元を求める」に係る意見書の採択を求める請願
 教職員給与などの義務教育費は国が三分の一を義務的に負担する法律だが、これを二分の一にすることを求めるもの。

賛成 11人
反対 0人
可決

発議案第1号

義務教育費国庫負担制度二分の一復元を求める意見書の提出について

小泉政権下の三位一体の構造改革で引き下げられた内容で、県へ地方交付税として差額が交付される制度だが、一般財源であるため県によって教育格差が生ずる可能性がある。教育の機会均等を保つため従前の割合に戻すことを求めており、委員会では全員賛成で採択された。意見書の提出先は衆参両院議長、内閣総理大臣以下総務、財務、文部科学大臣。

賛成 11人
反対 0人
可決

発議案第2号

株式会社イントランスへの土地及び建物の売却に反対し、同社との基本協定書の解除を求める勧告決議

発議の詳細については1〜2ページをご覧ください。

賛成 6人
反対 5人
可決

レ	ポ	委
ー	ー	員
ト	ト	会

産業建設常任委員会

道路除雪調査

とき 令和8年2月13日
ところ 全町

1月下旬の大雪で町内のいたるところで道幅が狭くなっていたが、2月に入り雪は小康状態となり危険は解消されていた。今回の調査は中心部においては通学路を中心に、周辺部は雪崩の心配される場所や標高の高い地区を確認した。全町にわたり除雪は適切されており、安心できる道路状況であった。除雪隊の皆様に感謝したい。

担当 恩田稔



産業建設常任委員会

JA魚沼と津南農業委員会との懇談会

とき 令和8年1月26日
ところ 津南町役場大会議室

恒例のJA農業委員会・町議会委員会との懇談会が開催された。
新年度計画の中で、魚沼ブランド米の販路拡大や地域農業の経営基盤の確立。また、身近な渇水対策・鳥獣対策・農業従事者拡充の情報交換等を行った。それぞれの立場の中での懇談会であり、委員会では町への建築要望事項の内容説明など将来に向けての農業のあり方や方向性での協議を行った。年1回の全体会議であり、町農業における大切な会議であると再認識した。

担当 吉野徹



津南町議員懇談会 social gathering

毎月1回、まちなかオープンスペース「だんだん」を会場に住民の皆様の声に耳を傾け、津南の現状や今後の課題を見つけるとともに情報提供と共有をします。



12月

「意見」

高齢となり免許を返納した。町中心地に住んでいれば、健康づくりの一環としても歩いて買い物に行けるが、遠い地域のためにも使いやすい公共交通が必要ではないか。

「回答」

公共交通の問題は利用者の減少や交通事業者の運転手不足など多岐に渡る。タクシー利用券やデマンドバス運行などの対策を議会としても重点事項として要望している。

「意見」

町がオーガニックビレッジ宣言をしたことを嬉しく思う。具体的な事業はまだ示されていないが、期待したい。

「回答」

町内産の有機農産物を使用したオーガニック給食を町内の小中学校に提供している。今後も更なる取り組みに期待したい。

「意見」

ニュー・グリーンピア津南民間譲渡の住民への説明内容を自ら調べてみたが、町がイントランスについて説明した内容に誤りがある。

「回答」

調べた内容を参考にしたい。町に対して議会として質疑を行うとともに、議員個人で調査を行っている。

1月

「意見」

今まで通り津南高原開発が続いて税金を投入することは絶対やめてほしい。例え経営者が変わっても、その中に今までの高原開発の経営に携わっていた人が入っているのは同じになるのではないか。

「回答」

今まで通りの経営者ではなく経営陣は変わり、ホテル経営のフロアが関わる計画が示されている。

「意見」

大規模農家や法人農業を支援するだけではなく、小規模農家が成り立つような支援が必要ではないか。特に津南町は、兼業農家が成り立つような仕組みや支援が必要。

「回答」

議会内でも議論をしていきたい。

2月

「意見」

だんだん前面の国道は人が横断するとき道路照明が暗く車で通りかかるとき危ないと感じる。特に冬は積雪もあり、運転には気を付けなければならない。対策してもらいたい。

「回答」

この件については過去に同様の要望があり、議員が照度試験をした記録がある。結果は郵便局前につきガソリンスタンドの証明が消えると基準値未満となったが、他の地点は基準値をクリアしていた。引き続き検証する。

「意見」

75歳以上で1人暮らしの住民に民生委員を通じて配布される「安心カード」を年齢にかかわらず1人暮らしであれば希望により配布されたい。

「回答」

年齢にかかわらず希望者には配布できるとされた経過があるようなので、役場担当に連絡して対応してもらおう。

「意見」

一人暮らしの屋根除雪を補助してもらいたいが、屋根が落下式だとということでお金をもらえない。降雪した雪を機械除雪してもらいたいが実費である。また、落下式屋根の人で補助金をもらっている人もいる。この差は？

「回答」

落下式で支援金が支給されるケースを例示すると降雪で玄関から出られなくなり避難路が確保されなくなるなど問題がある。判断は地区の民生委員に相談していただきたい。

勤続15年議員表彰



恩田稔 議員

15年の節目に表彰を賜り、心より感謝申し上げます。議員1年目に発生した長野北部地震、無我夢中で対応に奔走した事を思い出します。あの時の初心を忘れることなく、より良い町づくりのため精進してまいります。

荻原 洋子 議員

この度、町村議会議員として多年にわたる活動に対し表彰を受け、感謝申し上げます。この間の議員活動でいつも心がけていることは、開かれた議会、住民の声や心を町政に届け、町政レポートで報告することです。重大な決断を迫られている時「迷った時は己が損をする方を選べ」と議員必携にあります。今後も住民に寄り添い活動して参ります。

津南町議会において、長年にわたり地域の発展と住民福祉の向上に尽力してきた議員に対し、勤続15年の表彰が行われました。受賞議員からコメントをいただきました。

7月22日 定例会 開催中!



議会傍聴へぜひお越しください

6月22日(月)

10:00-15:00

月岡奈津子議員
吉野徹議員

未定

5月22日(金)

10:00-15:00

恩田稔議員
石田タマエ議員
風巻光明議員

津南病院の今後の問題と解決策について

4月22日(水)

13:00-17:00

筒井秀樹議員
江村大輔議員

津南町に今後住み続けるためには

トークテーマ